



創立記念日について

県立古河第一高等学校

4月18日(木)は、古河第一高等学校の創立記念日です。

本校は、**大正15年4月1日**に、現在の古河市立古河第二小学校の地に、**茨城県古河商業学校**として設立されました。そして、同年4月18日に開校式が挙行されたことから、その日が創立記念日とされており、今年度で**創立98年目**となります。現在の茨城県立古河第一高等学校という校名は、昭和24年に改称されたものです。当時は、普通科、商業科、機械科の3学科を擁していましたが、昭和47年に全日制機械科が、その翌年には定時制機械科が廃止され、現在に至ります。なお、商業科が現在のような各ビジネスの3科体制になったのは、平成17年からのことです。

ぜひこの機会に、本校の卒業生や関係者から話を聞いたり、資料などをひもといたりして、本校の伝統や先輩方の躍動を感じつつ、校訓や校歌を大切にし、母校を愛する生徒になってくれることを願います。

◆校訓について

こう けつ し せい
高 潔 至 誠

(志が高く、行いがけじめ正しく、とても誠実であること。)

しつ じつ ごと う けん
質 実 剛 健

(飾り気がなく、まじめで、強くしっかりしていること。)

きょう どう じ ち
協 同 自 治

(協力して助け合い、自分達のことは自分達で成し遂げること。)

◆校章について



【 現 在 】



【 創 立 当 時 】

校章の由来について

古河の「古」の字を図案化したものです。両側の羽根と杖にからんでいる蛇は、ギリシャ神話で商業・交易の神様とされるヘルメスが持っているものです。中央の棒のようなものはローソクの炎で、未来への希望・飛躍・躍進などを表しています。

マスコットキャラクターについて

令和3年度に、「古河一高」の魅力を広く発信するとともに、愛校心をさらに高める目的で、マスコットキャラクターを制作しました。当時の全日制、定時制の全生徒から募集した中から選ばれたのが、「古一丸・こいちまる」です。

◆キャラクタープロフィール

- 体長・・・自由自在
- 体重・・・自由自在
- 性格・・・とても前向き 周りをすぐ笑顔にできる

校章の翼からキャラクターは、鳥をイメージしています。体の色は校歌の歌詞にある桐の花からうす紫に、翼の色は学校カラーのエンジ色です。また、尻尾は桐の花の形を、頭は校章の中央にあるローソクの炎の形をイメージしています。また、古河一高の「古」と「一」の2文字を身体模様として描いています。

桐の木は鳳凰が唯一とまる木とされています。また、鳳凰は人の性格を見定め、親切な人を祝福するとされています。古河一高の生徒の勉学やスポーツに励む姿や、優しい心を見定め、その祝福として、鳳凰はこのキャラクターを産み落としました。そして、誕生からずっと古河一高に棲み、生徒たちを見守っています。頭が炎の形をしているのは、このキャラクターの心に“希望の灯(ともしび)”がともっているからです。



こいちまる

古一丸

古河一高マスコットキャラクター